新年を迎えて

会長 松家（まつか） 治道（はるみち）

新年明けましておめでとうございます。みなさまご家族、職員の方々ともども、健やかに新年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年１年間、郡市・医育機関医師会の役員、会員の皆様ならびに、関係諸団体の皆様には、北海道医師会の諸事業へご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援をお願いいたします。

また、昨年６月には我々新執行部をご選任いただき、私は会長職３期目となりました。心新たに会務に取り組んで参る所存です。また、今回、常任理事として札幌市医師会より末岡先生をお迎えし、長らく常任理事を務められた三戸先生がご本人のご意向もあり退任され、医師国保組合副理事長にご就任いただきました。また、監事の藤瀬先生もご勇退となり、松岡先生が新監事にご就任されました。すでに半年がたちましたが、引き続きご助力賜りますようお願い申し上げます。

さて、年初ということでこの機会に紙幅を費やして、昨年2025年の世界、日本、そして医療界での出来事を振り返り、さらに2026年に向けた展望を考えてみたいと思います。2025年は、国際情勢において多くの変化が見られました。年初に、アメリカのトランプ前大統領が再び大統領職に就任されましたが、彼の政策は国内外で賛否が分かれ、アメリカの政治的分断はさらに深まっています。また、ウクライナ問題は依然として緊迫した状況が続いており、ロシアとの対立が国際社会に大きな影響を与えています。この問題は、世界のエネルギー市場や安全保障に影響を及ぼし、多くの国々がその対応を迫られています。

日本においても、昨年も自然災害が多発しました。獣害や酷暑の話題が世間を賑わす中、こと台風や火災など災害が甚大で、従前の震災被害も含め多くの地域で復旧活動が続いています。これらの災害は地域社会に深刻な影響を与え、医療体制の強化が求められています。また、政治面ではSNSの影響力が弥増す中で独自の政策を掲げる政党の台頭もあって、若年層の政治への関心がムーブメントとなり、一昨年の衆院選に続き参院選においても与党が敗北し少数与党となりました。その後公明党離脱から日本維新の会と連立樹立と、26年ぶりとなる自由民主党中心政権の枠組みの大変動を経てようやく高市内閣が成立し、その影響もあってか政権交代さながらの政策転換が行われ積極財政に向かおうとしております。

そうした中で医療界では、COVID-19によりあぶりだされた医療提供体制の脆弱さが認識され、その再構築の重要性が理解され始めました。特に、医療従事者の負担軽減や、医療現場での支援体制の整備は焦眉の急となっています。昨今の物価高騰、人件費増加に対し公定価格のもとで対応せざるを得ない医療界において、年末の補正予算による補助等により弥縫とはなりました。が、本年６月の診療報酬改定が本丸であると考えられます。わたくしたち郡市・都道府県医師会の支援を背景に、日本医師会の辣腕に期待したいと思います。

さらに、新たな地域医療構想の構築も2027年度を目途に開始されました。また、DX化の推進も医療界の犠牲のもと遅々ではありますが進み、遠隔医療やAIを活用した診療が普及しつつあります。

この2026年には、国際情勢がさらに複雑化すると予想されます。アメリカ議会の中間選挙が近づく中、法的な正当性も問われているトランプ氏の関税政策など、どのように変化するかが注目されます。また、ウクライナ問題も昨年末に強引な停戦案が示されましたが不安定な状況が続くと思います。日本も含め国際社会の協力が求められるでしょう。気候変動問題も引き続き重要な課題であり、各国が連携して取り組む必要があります。

日本においては、自然災害への備えがますます重要になると考えられます。特に北海道においては日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えが重要となります。また金利や為替が不安定な中、高市政権の積極財政が挫折しないよう見守る必要があります。

医療界においては、人口減少、地域偏在、医療従事者の不足などにより、新たな地域医療構想の進展の加速化が予想されます。広大な本道においてはそうした懸念が特に顕著であり、早急に対応して参りたいと考えております。さらなるデジタル化が進むことが期待され、特に本道のように地域過疎が進んでいる状況では、遠隔医療の普及により地域医療のアクセスが向上し、患者の利便性が増すでしょう。しかしその初期コスト、およびランニングコストは受益者である社会が広く負うべきであり、即ち国の責任であることを強く主張してまいります。さらに郡市における医療提供体制および勤務医若手医師が置かれている状況等の把握・理解・対応をしっかりと行い、会員のお役に立ちたいと思っております。

新しい年を迎えるにあたり、希望を持って進んでいきましょう。地域医療の充実、医療従事者への支援、そして皆で力を合わせることが、より良い未来を築くための鍵となると信じています。北海道医師会としても、引き続き地域医療の発展に寄与し、皆様と共に歩んでいく所存です。新年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。